

平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年 8月12日

上場会社名	中野冷機株式会社	上場取引所	大
コード番号	6411	URL	http://www.nakano-reiki.com/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	中野 順造
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理部門長	(氏名)	長谷川 学
四半期報告書提出予定日	平成23年 8月12日	TEL	03-3455-1311
四半期決算補足説明資料作成の有無	無	配当支払開始予定日	-
四半期決算説明会開催の有無	無		

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
23年12月期第2四半期	12,939	9.7	1,189	1.1	1,216	2.7	680	7.8
22年12月期第2四半期	14,324	11.9	1,202	31.9	1,250	30.3	738	41.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	86.82	-
22年12月期第2四半期	94.16	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
23年12月期第2四半期	27,190	16,336	56.3	1,953.08
22年12月期	26,753	15,803	55.3	1,885.55

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 15,319百万円 22年12月期 14,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	-	0.00	-	18.00	18.00
23年12月期	-	0.00	-	-	-
23年12月期(予想)	-	-	-	12.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	26,400	4.6	1,720	1.7	1,770	3.2	1,000	5.5	127.49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

23年12月期 2 Q	8,954,000株	22年12月期	8,954,000株
23年12月期 2 Q	1,110,346株	22年12月期	1,110,326株
23年12月期 2 Q	7,843,659株	22年12月期 2 Q	7,844,271株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(6ヶ月間)におけるわが国経済は、一部に企業収益の改善も見られましたが、3月に発生しました東日本大震災とその後の原発事故の影響、それに伴う電力供給懸念が広がり、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要顧客である食品流通業界におきましても、依然として消費者の低価格志向や企業間の激しい価格競争が続いており、さらに原発事故による食品の安全性への懸念等が加わり、厳しい経営が続いております。

このようななか、当社グループは市場ニーズに柔軟によりスピーディーに対応するとともに、改正省エネ法に対応した節電の提案などの営業活動を行ってまいりました。

しかしながら、このような厳しい市場環境のなか、当第2四半期連結累計期間は減収減益を余儀なくされました。客先別ではコンビニエンス・ストア、スーパーマーケット向けの売上は堅調に推移しましたが、物流センター等大型物件の売上は低調な結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は129億39百万円(前年同期比13億84百万円、9.7%減)、経常利益は12億16百万円(前年同期比33百万円、2.7%減)、四半期純利益は6億80百万円(前年同期比57百万円、7.8%減)となりました。

なお、当社グループの事業は食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケースの製造、販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載をしておりませんが、所在地別の業績の概況は次のとおりであります。

日本

国内の売上高は、コンビニエンス・ストア、スーパーマーケット向けの売上は堅調に推移しました。しかし、物流センター等大型物件の売上が低調だった結果、119億38百万円(前年同期比13億28百万円、10.0%減)となり、営業利益は11億29百万円(前年同期比30百万円、2.6%減)となりました。

中国

中国では、中国国内向け販売は厳しい状態が続いており、売上は減少しましたが、一方で新製品の市場への投入等により、利益率を改善することができました。ただし、欧州及びアジア向け輸出が依然厳しい状態となっております。その結果、売上高は10億36百万円(前年同期比45百万円、4.2%減)となり、営業利益は60百万円(前年同期比19百万円、46.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は271億90百万円(前連結会計年度末は267億53百万円)となりました。流動資産は223億66百万円(前連結会計年度末は218億10百万円)となり、固定資産は48億24百万円(前連結会計年度末は49億42百万円)となりました。流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金が前連結会計年度末比3億70百万円増加したことによります。

一方、負債の部は108億54百万円(前連結会計年度末は109億50百万円)となりました。流動負債は77億52百万円(前連結会計年度末は78億7百万円)となり、固定負債は、31億1百万円(前連結会計年度末は31億42百万円)となりました。流動負債が減少した主な要因は、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末比1億88百万円減少したことによります。

純資産の部は163億36百万円(前連結会計年度末は158億3百万円)となりました。この結果、自己資本比率は、56.3%(前連結会計年度末は55.3%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ、4億63百万円増加し、82億4百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金は、6億71百万円の増加(前年同四半期は9億90百万円の増加)となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益11億62百万円、売上債権の減少1億90百万円などがあったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金は、43百万円の減少(前年同四半期は28百万円の増加)となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が1億44百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金は、1億68百万円の減少(前年同四半期は1億86百万円の減少)となりました。

この要因は、配当金の支払が1億33百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主要顧客である食品流通業界の今後の見通しにつきましては、原発事故による影響等もあり厳しい経営環境が続くものと思われます。

当社グループの第3四半期連結累計期間以降はコンビニエンス・ストア、スーパーマーケット向け売上は堅調に推移する一方、物流センター等の大型物件も持ち直すと予想しております。また、コストの面で引き続き業務の効率化、経費の見直しを行い、利益を確保する予定であります。

なお、本日(平成23年8月12日)、最近の業績動向を踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想及び通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

2. 表示方法の変更

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,877,652	14,507,601
受取手形及び売掛金	5,086,307	5,265,674
商品及び製品	1,039,410	796,098
仕掛品	403,313	456,391
原材料及び貯蔵品	683,544	549,159
繰延税金資産	160,945	157,883
その他	123,010	79,814
貸倒引当金	8,124	2,423
流動資産合計	22,366,058	21,810,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,755,499	3,747,574
減価償却累計額	2,712,799	2,674,716
建物及び構築物(純額)	1,042,700	1,072,858
機械装置及び運搬具	2,272,051	2,252,284
減価償却累計額	1,879,538	1,843,717
機械装置及び運搬具(純額)	392,513	408,567
土地	1,115,946	1,115,946
建設仮勘定	8,611	31,839
その他	666,263	690,237
減価償却累計額	615,267	637,065
その他(純額)	50,996	53,172
有形固定資産合計	2,610,767	2,682,383
無形固定資産		
のれん	10,015	12,519
土地使用権	227,855	228,556
その他	22,529	26,490
無形固定資産合計	260,400	267,566
投資その他の資産		
投資有価証券	1,029,681	1,074,984
長期貸付金	7,963	8,377
長期前払費用	2,186	2,493
繰延税金資産	836,973	827,513
その他	95,532	118,188
貸倒引当金	18,914	38,594
投資その他の資産合計	1,953,422	1,992,962
固定資産合計	4,824,590	4,942,911
資産合計	27,190,648	26,753,111

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,495,271	5,684,265
短期借入金	250,000	250,000
未払費用	998,042	640,913
未払法人税等	456,808	506,348
未払消費税等	47,670	82,427
賞与引当金	106,240	80,716
製品保証引当金	171,350	134,948
その他	227,449	427,763
流動負債合計	7,752,833	7,807,383
固定負債		
繰延税金負債	5,129	5,129
退職給付引当金	2,469,274	2,469,932
役員退職慰労引当金	239,879	282,718
負ののれん	2,739	3,653
その他	384,341	381,236
固定負債合計	3,101,364	3,142,670
負債合計	10,854,197	10,950,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,650	822,650
資本剰余金	522,058	522,058
利益剰余金	14,520,316	13,982,882
自己株式	675,181	675,159
株主資本合計	15,189,843	14,652,431
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	170,092	191,673
為替換算調整勘定	40,647	54,443
評価・換算差額等合計	129,445	137,230
少数株主持分	1,017,161	1,013,396
純資産合計	16,336,451	15,803,058
負債純資産合計	27,190,648	26,753,111

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	14,324,249	12,939,834
売上原価	11,890,721	10,619,788
売上総利益	2,433,528	2,320,046
販売費及び一般管理費	1,230,583	1,130,920
営業利益	1,202,945	1,189,126
営業外収益		
受取利息	21,119	12,724
受取配当金	12,129	11,809
仕入割引	4,001	3,280
受取地代家賃	2,410	1,623
負ののれん償却額	2,022	913
その他	10,431	2,840
営業外収益合計	52,113	33,192
営業外費用		
支払利息	3,695	3,547
売上割引	466	881
為替差損	558	904
営業外費用合計	4,721	5,332
経常利益	1,250,337	1,216,985
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	-	950
固定資産売却益	8	518
償却債権取立益	7,824	1,200
投資有価証券売却益	-	232
特別利益合計	7,832	2,901
特別損失		
固定資産除却損	299	7,568
固定資産売却損	-	42
減損損失	71	-
災害による損失	-	30,081
投資有価証券評価損	-	19,400
特別損失合計	371	57,092
税金等調整前四半期純利益	1,257,798	1,162,794
法人税等	493,283	454,110
少数株主損益調整前四半期純利益	-	708,683
少数株主利益	25,881	27,719
四半期純利益	738,634	680,964

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,825,038	6,619,702
売上原価	5,649,967	5,398,213
売上総利益	1,175,071	1,221,488
販売費及び一般管理費	604,109	526,979
営業利益	570,962	694,509
営業外収益		
受取利息	7,439	6,376
受取配当金	12,129	11,809
仕入割引	2,108	1,634
受取地代家賃	1,189	795
負ののれん償却額	1,565	456
その他	8,227	1,354
営業外収益合計	32,658	22,428
営業外費用		
支払利息	1,738	1,777
売上割引	253	357
為替差損	2,861	1,858
営業外費用合計	4,853	3,993
経常利益	598,767	712,944
特別利益		
固定資産売却益	-	518
償却債権取立益	7,824	1,200
特別利益合計	7,824	1,718
特別損失		
固定資産除却損	30	770
災害による損失	-	1,580
投資有価証券評価損	-	16,122
特別損失合計	30	18,473
税金等調整前四半期純利益	606,561	696,189
法人税等	236,740	266,328
少数株主損益調整前四半期純利益	-	429,860
少数株主利益	11,395	11,272
四半期純利益	358,425	418,587

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,257,798	1,162,794
減価償却費	130,218	129,438
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,499	14,166
賞与引当金の増減額(は減少)	28,670	25,523
製品保証引当金の増減額(は減少)	62,794	36,329
退職給付引当金の増減額(は減少)	38,369	658
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,786	42,838
受取利息及び受取配当金	33,248	24,533
支払利息	3,695	3,547
償却債権取立益	7,824	1,200
ゴルフ会員権売却損益(は益)	-	950
固定資産売却損益(は益)	8	476
固定資産除却損	299	7,568
災害による損失	-	30,081
投資有価証券売却損益(は益)	-	232
投資有価証券評価損益(は益)	-	19,400
減損損失	71	-
売上債権の増減額(は増加)	769,672	190,231
たな卸資産の増減額(は増加)	319,341	319,920
その他の資産の増減額(は増加)	4,132	47,006
仕入債務の増減額(は減少)	82,386	197,248
その他の負債の増減額(は減少)	140,829	217,648
その他	4,656	17,320
小計	1,097,452	1,156,011
利息及び配当金の受取額	39,655	28,492
利息の支払額	5,996	5,916
法人税等の支払額	210,291	504,233
法人税等の還付額	69,564	-
災害損失の支払額	-	2,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	990,384	671,614
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	23,669	144,047
有形固定資産の売却による収入	30	1,594
無形固定資産の取得による支出	682	-
貸付金の回収による収入	3,262	414
定期預金の預入による支出	6,389,040	6,524,316
定期預金の払戻による収入	6,428,160	6,624,012
投資有価証券の取得による支出	5,127	5,231
投資有価証券の売却による収入	-	337
保険積立金の解約による収入	2,275	1,326
保険積立金の積立による支出	1,593	1,155
差入保証金の回収による収入	615	851
ゴルフ会員権償還及び売却による収入	14,050	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,278	43,214

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	249	21
配当金の支払額	140,444	133,668
少数株主への配当金の支払額	45,952	34,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	186,646	168,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,125	3,743
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	820,891	463,974
現金及び現金同等物の期首残高	6,348,886	7,740,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,169,778	8,204,118

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)

当社グループの事業は食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケース等の製造、販売の単一セグメントのため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,310,635	514,403	6,825,038	-	6,825,038
(2) セグメント間の内部売上高	2,149	11,457	13,607	(13,607)	-
計	6,312,784	525,861	6,838,646	(13,607)	6,825,038
営業利益	553,249	16,422	569,672	1,289	570,962

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,262,666	1,061,583	14,324,249	-	14,324,249
(2) セグメント間の内部売上高	4,327	20,464	24,791	(24,791)	-
計	13,266,993	1,082,048	14,349,041	(24,791)	14,324,249
営業利益	1,160,331	41,496	1,201,827	1,117	1,202,945

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第2四半期連結累計期間の「日本」の売上高は588,401千円増加し、営業利益は67,479千円増加しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当第2四半期連結会計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)

当社グループの事業は、食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケース等の製造、販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。